岡山市立曽根小学校　学校だより

そねっ子

2024．10．22
１０月号

曽根小 HP

運動会

ご観覧・ご声援・温かい拍手を　ありがとうございました

１０月５日（土）運動会が無事開催されました。例年にない真夏日が続く残暑と、台風や秋雨前線の影響が心配されましたが、当日は降雨もなく、暑くもなく寒くもなくといった天候の中、元気いっぱいの子どもたちの姿が繰り広げられた運動会となりました。

子どもたちが考えた今年度のスローガンは、

「龍のように心を燃やせ！　つかめ金メダル！」

どの学年の子どもたちも、演技・競技に一生懸命練習を重ねて本番を迎えました。

小学校生活最後の運動会をより盛り上げようと，最高学年６年生が中心となり、開閉会式の企画や進行、今年ならではの工夫、委員会ごとの当日の役割分担など、「子どもたちが主役」となって一大イベントを創り上げてくれました。

第１部は、「リレー」を中心とした各学年の競技でした。

直線の折り返しとは言え、なかなか見応えのあった１・２年生のリレー。練習の成果がうかがえた３・４年生のリレー。そして、何と言ってもスピード感と迫力の高学年！白熱した走りを見せてくれました。

第２部の表現では、かわいいダンスと玉入れで、会場に温かい風を吹かせてくれた低学年。一人一人の個性が輝いて見えた中学年のダンス。そして、「笑顔」をテーマに、ソーラン節の迫力ある踊りと、色鮮やかなフラッグの舞を見せてくれた高学年。どの学年の姿にも、限られた時間の中で一生懸命に練習を重ねてきた成果がよく表れていました。

“赤組・白組、同点優勝！！”　この結果が、すべてを物語っている気がしています。子どもたち一人一人が主役となれる運動会、子どもたちが創造することを楽しめる運動会・・・・今の、今の時代の曽根小学校が目指す形が年々積み重ねられていきます。

5年生『 防災教室①』

９月２５日（水）２６日（木）両日の１校時、５年生は、防災士の資格を持たれている小寺さん（曽根大西町内会長）をお招きして、総合学習「防災学習」に取り組みました。

過去の自然災害から学ぶべきことや、ハザードマップなどを活用した防災知識など、たくさんのことを教えていただきました。防災グッズや備蓄食料などもご用意くださっていて、５年生の子どもたちは、興味深く熱心に学習に取り組むことができました。

「南海トラフ大地震」や豪雨・浸水災害などの自然災害に対する懸念が年々大きくなっている今、こういった学びを「自分ごと」として具体的に活かしていく力を養っていきたいと考えています。また、来年の１月にも、曽根学区民の防災訓練・防災研修が予定されています。子どもたちにも、その保護者の方々にも、是非積極的に参加してほしいと願っています。

授業研究・公開授業

子どもたちに「がんばれ、ガンバレ！」とエールを送り続けている教職員自身もがんばって勉強をし、校内における授業研究も進んでいます。

１０月１５日（火）初任者研修で、３年生の国語科「サーカスのライオン」の公開授業が行われました。張り切って挙手する子どもたちの姿がとても印象的でした。

１６日（水）岡山市「子どもが輝く学びプロジェクト」の中学校区授業研究として、２年生の算数「かけ算（２）」の学習が公開されました。同じ数のまとまりに分け、かけ算の式にして考えるという授業でしたが、子どもたちが主体的にいろいろな考え方を思考し、進んで発表しようとする場面がよく見られました。その後には、参加してくださった興除中学校区校園の先生方、教育委員会指導課の先生と一緒に研究協議をし、さらなる研修の深化を図りました。

１７日（木）には、ＯＪＴ若手教員育成事業の一環として、６年生の道徳科「ロレンゾの友達」の授業が公開されました。「友情・信頼」が主題となる題材でしたが、さすが６年生・・・深く登場人物の思いなどを思考し、とてもしっかりとした意見を述べていました。

これからも、目の前の子どもたちに、より「分かる授業」「今、求められる授業」を行っていくための更なるスキルアップをめざして教職員も頑張っていきます。

校外学習へ GO！

秋は、校外学習のシーズンでもあります。

１０/９（水） １年生は、池田動物園・人と科学の未来館「サイピア」へ生活科見学に行きました。子どもたちは興味津々で食い入るように動物の動きを見て楽しんでいました。サイピアでのプラネタリウム鑑賞も、初めての体験に大喜びでした。

同日、３年生は岡山市南消防署・後楽園・岡山城へ社会科見学に行きました。普段は見ることのない消防設備や、間近で見る消防車の種類の多さと迫力に、子どもたちも少々興奮気味でした。後楽園・岡山城の見学では、岡山を代表する歴史的な建造物にも興味をもつことができたようです。

１１日（金）には２年生が、倉敷市立図書館・自然史博物館へ生活科見学に行きました。路線バス、公共の施設を利用することで、公共のマナーを学ぶとともに、市立図書館の本の多さ、博物館展示の面白さに、とてもよい思い出の１ページを綴ることができました。